



ミクロネシア諸島自然体験交流事業（受入）

実施期間：令和7年6月19日（木）～23日（月）

目的・趣旨

日本とミクロネシア諸島の国々の青少年の国際交流を通して、グローバル社会に対応した高い国際感覚を備えた青少年を育成するとともに、地球温暖化をはじめとする環境問題などの国境を越えた地球的規模の問題の解決に向けて自分たちにできることは何かを考える契機とする。

事業概要

- 【参加者数】 ミクロネシア諸島（コスラエ州、チューク州）の子供24名（10～14歳）
シャペロン（引率）4名
ホストファミリー15家族：日本人の子供15名程度含む
- 【実施内容】 ・地域探訪（高田本町商店街散策・高田城址公園見学）
・妙高市立妙高小学校との交流会
・ホストファミリーの子供たちとの宿泊体験
・ホームステイ（6月21日（土）～22日（日））
・フェアウェル（お別れ）パーティ

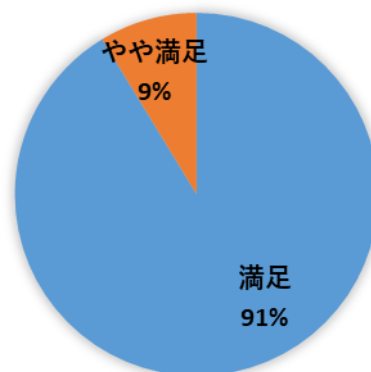
事業のポイント

- 地域や施設の特徴を活かした地方プログラムを計画・運営した。
- 学校交流会や宿泊体験を通して、ミクロネシア諸島と日本人の参加者が互いの文化や風習に親しみながら交流を深めた。

成果

- 日本人参加者の事業全体をとおした満足度は、「満足」「やや満足」を合わせて100%となった。
- 「外国の人との交流を通して、自分の可能性を広げたいと思った」「交流した外国の人と将来もつながりを持ちたいと思った」のアンケート項目において、肯定的評価が100%だった。
- 地域の特産の紹介や観光地巡りなどを通じて、妙高をより身近に感じていただけるプログラムを企画・運営することができた。
- 地元の小学校との交流会では、過去（17年前）の活動の記録なども参考にしながら打合せを行った。学校職員の多忙化抑制にも配慮しつつ、小学校の外国語学習・国際理解教育及びミクロネシアの子供たちの異文化交流の場として充実した活動を行うことができた。

参加者満足度



事業の様子



高田本町商店街散策



高田城址公園見学



学校交流会



宿泊体験（焚火プログラム）



葉っぱスタンプ
(オリジナルサコッシュ作り)



ホストファミリーと集合写真



フェアウェルパーティー

詳しい様子はこちらより！



自然の家 公式動画(YouTube)

妙高ミミチャンネル



参加者の声

- 最初は自分から話すことができなかったけど、1泊2日のホームステイの間に自分から話しかけたり、公園に行ったり、自分から提案することができるようになりました。
- 思うように英語を話せなかったけど、翻訳アプリなどを使ってコミュニケーションをとることができた。自然の家で泊まった時はミクロネシアの手遊びや日本の手遊びをみんなでやることができとても楽しかった。事業が終わっても連絡を取り合い、この関係を続けていきたいと感じた。

課題

- 自然の家で生活する際に、入浴のルールなど細かい部分で説明の意図が伝わらない部分があった。イラストなどを活用し、視覚的に必要な情報を伝える方法を工夫していく。
- ミクロネシア諸島の生活様式や慣習について、ホストファミリーに伝える機会や手段をより工夫したい。例えば事前学習会の前にあらかじめパンフレットなどの資料を配付しておき、当日はそれらを踏まえたホームステイでの留意事項について詳しく説明できるようにしたい。